

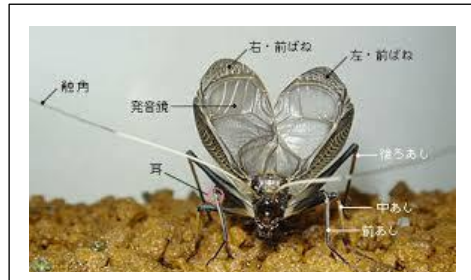
ちっちゃいものくらぶ

鈴虫(さん)

セミナーハウスに入ると「リーン リーン」という美しい声で鳴いている鈴虫さんがいるのを、みんなは知ってるかな？この子たちは生物の藤田先生が20年前から大切に育てている子孫なんだよ。もう少しするとその鳴き声が聞けなくなるから、藤田先生に鈴虫さんのことについてお話を伺ってみた。

題して「**藤田塾**」と命名！さあ開講です。

鈴虫さんの雌は多い子で100個以上産卵する。5～6月に孵化し7回脱皮して2カ月で大人になる。脱皮直後は真っ白なんだって！



鳴くのは雄だけ。「俺はこんだけカッコいいんだぜ」って雌にアピールするんだ。鈴虫さんのモテ男の基準まではわからないけどね。鳴くのは1か月くらい。それで雄は翅が擦り切れて死んじゃうんだって。



雌は雄が死んだ後も1か月くらい生きるそうだ。

力尽きて死んじゃった雄を、雌は卵を産むための栄養にすることももあるらしい。でもカツオブシや煮干しをあげてれば、お亡くなりになった雄を食さなくても大丈夫。野菜も食べるよ。

鈴虫さんは7か月もの間、卵の状態ですらに埋まって過ごす。一定期間、寒さにあたってから**湿った土**（これが**大事**）があり、温かくなると卵がかえるんだって。

25℃くらいの日が続くと、もうそろそろ起きよくなって感じで卵から出てくる。温度が高いほど早く孵化するんだけど、さすがに40℃とかだと無理みたい。最近孵化する時期が早まっているそうで、それは地球温暖化の関係もあるらしいです。

鳴き声と温度の高い低いとは比例するそうです。涼しくなってくると、鈴虫さんもテンション下がり気味になるのかも…。あ～、それにしても良いお声ですなあ。

鈴虫まめ知識（京都・鈴虫寺のHPより）

鈴虫さんの鳴き声は電話では聞こえないんだ。それは鳴き声が電話機の伝えられる周波数の範囲外だからなのさ。これって、前にテレビドラマの殺人事件のアリバイ崩しに使われてたよな、確か。修学旅行で鈴虫寺行く人いる？

